

初倉谷口地区の茶園修景作業（令和3年7月11日）

令和3年7月14日 静岡新聞

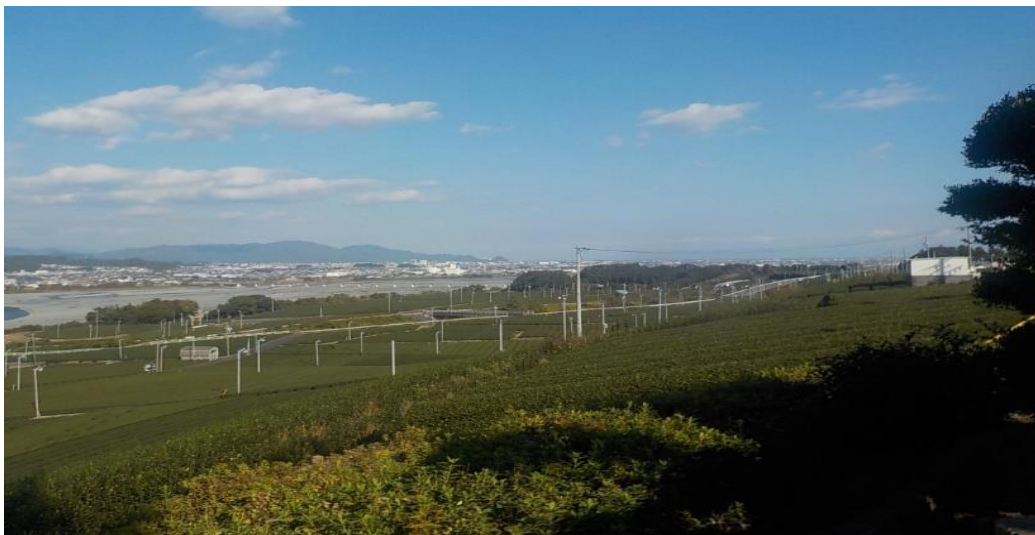
ガードレール塗り替え
島田で地域住民参加
美しい茶園の景観へ

県と天井川流域9市町でつくる「大井川流域・牧之原大茶園景観協議会」は11日、島田市阪本の谷口自治会と連携し、大井川や葦土山を望む茶畑のガードレールを白色から景観になじむグレーベージュに塗り替える作業を行った。

対象は眺望スポットとして知られる「中條金之助景昭の像」から見た見渡すことのできる茶畑内にある市道沿いのガードレール約200本。地元の親子連れら40人が参加し、県や市の職員と一緒に、ローラーを使って丁寧に水性塗料を塗っていた。

牧之原台地は同協議会の策定した景観形成行動計画で定めた重点地区の一つ。大塚吉秋自治会長は「地元の誇れる景観を見つめ直す良い機会になる」と話した。

美しい茶園景観の形成に向け、ガードレールの塗り替え作業を行う住民＝島田市阪本

塗装活動の様子



塗装後の様子

